

Sky Rising in Yushuhara

3. 関西旅行の思い出 (Snapshots from Kansai)

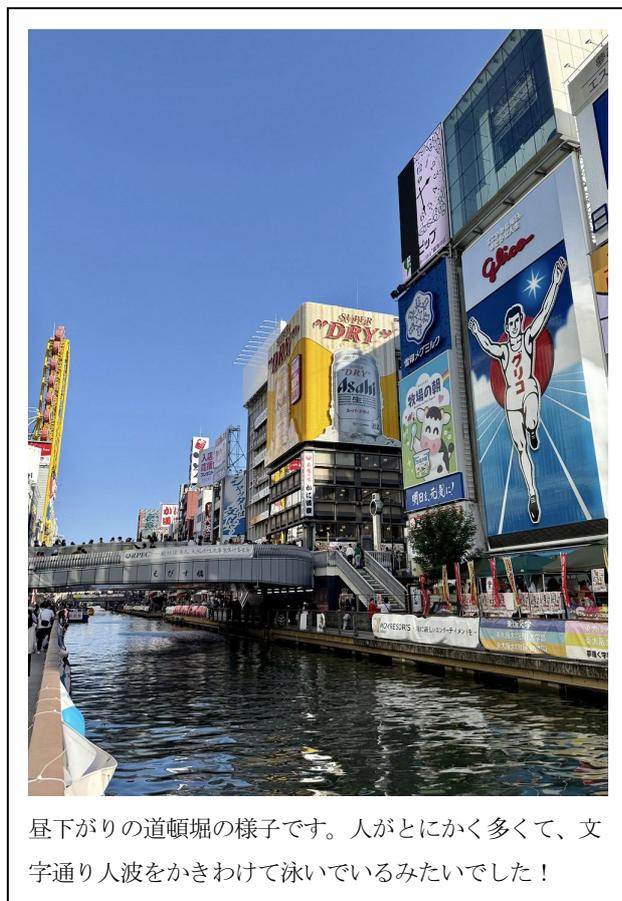
梶原学園 ALT : パトリック・ルイス

先日、四国を離れて旅行に行ってきました。梶原で生活を始めて最初の国内旅行ですが、関西方面を選びました。10月31日、ハロウィンの夜から4、5日ほどの日程でした。交際中の彼女がちょうどアメリカから日本にやっ
てきていたこともあり、なかよく一緒に旅行をしてきた、というわけです。初日、大阪行きの夜行バスが出るまで多少時間があったので、高知の繁華街を散策しました。平日木曜の夜にもかかわらず、通りはにぎやかで、ハロウィンということで仮装した人たちがいっぱいでした。全身をピカチュウの恰好で統一した6人の高校生のグループがいたのですが、その彼らが僕に英会話を挑んできたのです！全く思いがけないことでしたが、とても愉快的なコミュニケーションになりました。

旅行中の宿泊場所はずっと大阪でしたが、その間、もちろんたくさんの有名な観光スポットを訪れました。大阪城、黒門市場、道頓堀など……。でも、地元の人たちとのやりとりの方が、よほど記憶に残ったように思います。例えば、ある駅の周辺で道に迷っていると、僕たちの慌てぶりに気づいた親切な男性の方が、丁寧に道を教えてくれました。コンビニに入ると、日本人のお客さんに話しかけられることが何度もありました。笑いをこらえられなかったのは、アメリカ村を歩いていた時のことです。かなりふっかけた値段のジーンズを、僕にしつこく売りつけようとした人がいたからです。まるで僕がアメリカ人ではなくて、ずっと安い価格で買う方法を知らないかのように……。また、大学時代の日本人の友人と再会することもできました。彼は関西出身で、そして彼女同伴で待ち合わせの場所に現れましたが、その後いろいろな場所を案内してくれました。彼らが行きつけのシーフードレストランでは、僕たちにランチをご馳走してくれました。たくさんの商店街を見せてくれましたし、難波八阪神社のような名所へも案内してくれました。地元の人しか知らないような大阪、そして関西の一面を垣間見ることができたのは、興味深いことでした。もちろん、それだけにとどまりません。彼とこうして再会できたのも素晴らしいことでした。僕たちはあべこべの経験—彼はかつて大学時代に日本からアメリカへ、そして僕は今、その逆の生活—を共有しているのですから、なおさらです。

奈良への日帰り旅行にも行きました。奈良では何よりも、鹿の数のおびただしさにびっくりしました！これほどたくさんの鹿を見たのは、奈良公園が生まれて初めてです。カリフォルニアにいる鹿は日本の鹿よりもひとまわり大きく、ほとんど見かけることができません。人間を怖がるだけでなく、ふつうは森の奥深くでしかお目にかかれない動物だからです。奈良の鹿は、もう完全にその反対でした。特に、こちらが鹿せんべいを手にしている時はそうです。僕の彼女なんかはたびたび、おなかをすかした鹿の大群に取り囲まれていました。せんべいをすぐにあげないと、鹿たちは彼女を噛むか、頭で小突いてきたほどです。逃げ出した時でさえ、後を追っかけていました。

今回の旅行では、ワクワクするだけでなく、のんびりと穏やかな時間を過ごすことができましたし、素晴らしい思い出になりました。京都巡りはかないませんが、いつかまた関西方面へ足をのぼすことがあれば、絶対に行きたいと思っています。時間がとれれば……ぜひ。



昼下りの道頓堀の様子です。人がとにかく多くて、文字通り人波をかきわけて泳いでいるみたいでした！